

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 69
R4. 12. 6
(文責:校長 菅家 篤)



朝顔と1年生の子どもたちのストーリー

1年生は生活科の授業でアサガオを育ててきました。5月に種をまき、水やりなどの世話を愛情込めて行い、夏にきれいな花を咲かせることができました。秋になると種ができ、花が咲き終わった後も、子どもたちは熱心に種採りを行っていました。そして、先週は枯れた朝顔のつるを材料に世界に一つだけの素敵なクリスマスリースを作りました。

生活科において、子どもたちが朝顔のような植物を育てる活動を行うのには、次の意味があります。

朝顔を育てる活動を行う中で、朝顔への関わりを深め、朝顔の成長への気づきが、朝顔の世話を続けることができた自分自身の成長への気づきとなり、子どもたちの生きる力を育むことにつながっていきます。



種蒔きをしました。(5月)



花が咲き終わると毎朝種採りをしました。(9～10月)



種採りが終わったら、つるを支柱から外す作業をしました。(10月下旬)



支柱から外したつるを材料にして、素敵なクリスマスリースを作りました。(11月末)



学習活動が子どもサイドで流れるとき、子どもたちは知らず知らずのうちに一つのストーリーを作りながら学習対象とのドラマチックな出会いと気づきを繰り返していきます。

1年生の子どもたちは、春から冬にかけて朝顔に関わりながら様々なことに気づき、教室の座学だけでは味わえない豊かな学びを体験しました。子どもたち一人一人に、朝顔と自分だけのストーリーが生まれたことと思います。

来年は、収穫した種を新1年生にプレゼントします。朝顔のストーリーは続いていきます。